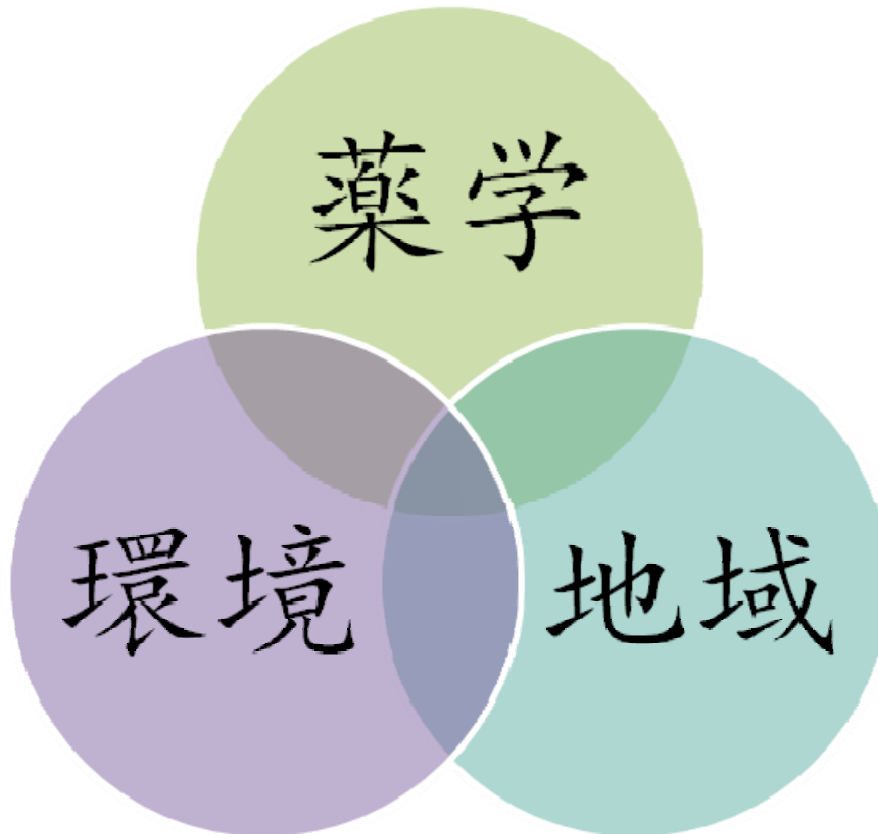




平成22年度 教育GP 先進国研修プログラム

目指せ！ ECO Pharma
ドイツに学ぶ環境地域づくり
プログラム・ハンドブック



2010 Aug. -29 (Sun.) ~ Sep. -6 (Mon.)

熊本大学薬学部

企画 NPO 法人環境ネットワークくまもと
協力 九州環境パートナーシップオフィス



プログラムについて

「環境」に関する社会的課題や経済活動についての知見と感性を有する薬学人材の育成に向けた視察プログラムとしてドイツでの研修プログラムを企画。本プログラムをとおして、環境・持続可能な社会づくりにおける、薬剤師をはじめとする医療・健康保健分野の専門家の役割とその育成に焦点をあて、地域におけるパートナーシップ、持続可能な地域づくりにおける役割と多様な主体による社会のしくみづくりについて知見を広げる。

視察研修グループメンバー

		性別	氏名	所属
1	講師	男性	宮北 隆志	NPO 法人環境ネットワークくまもと 代表理事 熊本学園大学社会福祉学部教授
2	引率	男性	白崎 哲哉	国立大学法人 熊本大学大学院 生命科学部准教授
3	学生1	男性	石田 規人	熊本大学薬学部生
4	学生2	女性	井上 亜希	熊本大学薬学部生
5	学生3	男性	内屋敷 佳弘	熊本大学薬学部生
6	学生4	女性	北 愛矢菜	熊本大学薬学部生
7	学生5	女性	辻 美保子	熊本大学薬学部生
8	学生6	女性	永尾 紗理	熊本大学薬学部生
9	学生7	女性	山中 悠子	熊本大学薬学部生
10	一般	女性	飛野 幸子	済生会熊本病院薬剤部長
11	一般	女性	宮瀬 美津子	NPO 法人 環境ネットワークくまもと 理事 国立大学法人 熊本大学教育学部准教授
12	事務局	男性	澤 克彦	環境省 九州環境パートナーシップオフィス (EPO九州) コーディネーター
13	事務局	女性	園田 敬子	NPO 法人 環境ネットワークくまもと 理事 事務局職員

日程表

	主な訪問都市など	宿泊	食事		
			朝	昼	夕
8月29日	福岡→上海→フランクフルト	機内泊	×	各自	○
8月30日	フランクフルト→ハイデルベルク ハイデルベルク城・薬事博物館他	ハイデルベルグ 3泊	各自	○	○
8月31日	副市長表敬 NABU 哲学の道 プログラム体験		○	○	○
9月1日	BUND 訪問 環境薬局視察		○	○	○
9月2日	WELEDA 社訪問→ガルミッシュへ	ガルミッシュ	○	○	○
9月3日	気候療法レクチャー	2泊	○	○	○
9月4日	気候療法（山歩き体験）コースへ ミュンヘン市内散策	ミュンヘン 1泊	○	○	○
9月5日	ガルミッシュ→フランクフルト フランクフルト→上海	機内泊	○	各自	機
9月6日	上海→福岡		機	機	×

移動中の食事については機内サービスなどで対応します。列車での移動中、空港での乗継時は各自で対応します。

日本からドイツへの電話のかけかた

(国際電話会社番号)+0 1 0 + 4 9 (ドイツの国番号)+相手先の電話番号(市外局番の最初の0はとる。)

国際電話会社の番号

001 (KDDI) 0033 (NTTコミュニケーションズ) 0041 (ソフトバンクテレコム)

005345 (au携帯) 009130 (NTTドコモ携帯) 0046 (ソフトバンク携帯)

健康管理について

ドイツとの時差は7時間（サマータイムのため）あります。視察行程中は、移動も多く乾燥した気候もあり、水分補給を意識的に行う必要があります。

また、往復のフライトでは機内の乾燥も強く、マスクの着用やのどスプレーなどを使ったケアが効果的です。

体調不良を感じた場合は、速やかに引率者・事務局まで申し出てください。

現地の気候		最高	最低
ハイデルベルグ	8月	23℃	13℃
	9月	20℃	10℃
ミュンヘン	8月	23℃	12℃
	9月	18.8℃	8.9℃
ガルミッシュ・パルテンキルヘン	8月	21℃	10℃
	9月	18℃	7℃

南ドイツのミュンヘンでさえ札幌よりも北に位置するので、服装は、北海道よりもやや寒いぐらいのつもりで用意するとよい。夏は、猛暑の年もあるが、雨が降るとかなり冷え込む日もあるので、カーディガン等の防寒着が必携。

現地コーディネーター・協力者

中村 典子さん（現地全日程随同行・通訳）

ハイデルベルク留学の後、ドイツ連邦共和国ハイデルベルク市在住。
ガイド・通訳・翻訳業に従事。ドイツ薬事博物館非常勤。
薬事関係の視察コーディネーター・通訳。

西川 カさん（9月2日～4日、気候療法レクチャーに随行・通訳）

パートホルンブルクにてインタービジョン社を設立。
クア、ウエルネスに関する日本向けの情報を発信。
1995年よりドイツ各地でクアオルト医療などのセミナーを開催。関連する翻訳や通訳多数。
日本語訳書「シュツツガルトのグリーンネットワーク」、「気候療法入門」、ドイツ語訳書「DAS AQUANUDEL WORKOUT-BUCH」など。

アンゲラ・シュウ(Angela Schuh)教授（9月3日～4日、気候療法レクチャー）

ミュンヘン大学 保健・リハビリテーション科学研究所 気候療法医学教授
Professor of medical climatology at the Institute for Health and Rehabilitation Sciences at the University of Munich

企画団体について

NPO 法人環境ネットワークくまもと

環境ネットワークくまもとは、持続可能な農的暮らしと健康な地域社会を実現するため、熊本県内で環境保護に取り組む各団体・個人をゆるやかにネットワークし、情報交換や紹介、市民への参加をすすめています。また、講演会や自然体験型の学習会などの啓発活動を企画・実施し、NGO間や行政や企業とのパートナーシップを進めています。

熊本市大江本町6-24 TEL 096-***-****

<http://www.kankuma.jp/>

今回のドイツ視察プログラム企画段階より、現地情報提供者としてエリザベス・モスバッハさん（元熊本市のドイツ国際交流員、現在はシュツツガルト在住）にご協力頂きました。

九州環境パートナーシップフィス

EPO九州は、地域での環境パートナーシップづくりの支援拠点として環境省により平成19年9月に設置されました。地域のNPO、企業、行政、市民などとの間の情報の共有・交流、パートナーシップでの取組みを推進する役割を担います。

その一環として、今回の企画プログラムに協力しています。

熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館2階 TEL 096-***-****

<http://www.epo-kyushu.jp/>

視察研修先一覧

- ・ハイデルベルク城・薬事博物館
- ・NABU（ドイツ自然保護連盟）ハイデルベルク支部
- ・BUND（ドイツ環境保護連盟）ハイデルベルク支部
- ・Weleda（化粧品製造企業）
- ・環境薬局
- ・ミュンヘン大学 シュウ先生 気候療法レクチャー

※各訪問先では2名が記録担当とし、他の学生が質問者・話題提供者となる。

日程プログラム

Day 1 8/29 (日)			
09:15	熊本交通センター集合 (名)	高速バス	JR
09:35	熊本交通センター発		10:55 熊本駅発
11:48	国際線ターミナル着	※成田便 (石田さん)	12:12 博多駅着
12:30	福岡空港国際線ターミナル出発ロビー集合 (名) 搭乗手続き: 荷物はフランクフルトまで預けます。	13:50 成田発 MU272	
14:20	福岡発 MU518	16:00 上海着	
14:55	上海着 出口ロビーにてガイドさんと合流。 夕食+上海市内観光 ※上海万博については外観を見学	出口ロビーにて合流。	
23:55	上海発 MU219		
研修メモ 学 び 発 見 成 果			

Day 2 8月30日(月)			
06:05	フランクフルト着 ターミナル2から駅へ移動 鉄道にてフランクフルト→ハイデルベルク	鉄道	
07:54	Frankfurt(M) Flughafen Fernbf		
08:24	Mannheim Hbf		
09:29	Mannheim Hbf		
09:45	Heidelberg Hbf 現地コーディネーター、中村さんと合流 荷物をホテル等へ預ける		
午後	視察訪問1 ・薬事博物館 ・ハイデルベルク城、市内散策		記録担当 石田 井上
夜	交流会 下記団体との交流を予定(滞在中いずれかの日程で) 「ハイデルベルク熊本友の会」 Heidelberger Freundeskreis Kumamoto 熊本市からの公式な、あるいはそれに準ずる訪問団をおもてなしする活動をしています。 http://www.kumamoto-if.or.jp/Upload/topics/p1_358_2183200519419.pdf		
研修メモ 学 び 発 見 成 果			

Day 3 8月31日(火)			
午前	市長表敬 11時 会場：Kleiner Rathaussaal (114号室) ご対応 Dr.ゲルナー副市長 (Dr. Gerner) ※社会教育関係の担当副市長 意見交換もあわせて行ないます。		記録担当 内屋敷 永尾
午後	NABU(ドイツ自然保護連盟)による生物多様性フィールドワーク 哲学の道での自然観察会(野鳥・植物)		記録担当 山中 北
夜			
研修メモ 学 び 発 見 成 果			

Day 4 9月1日(水)			
午前	視察訪問2 ・環境NPO BUND(ドイツ環境保護連盟)訪問		記録担当 辻 石田
午後	視察訪問3 ・環境薬局視察訪問		記録担当 井上 内屋敷
夜			
研修メモ 学 び 発 見 成 果			

Day 5 9月2日(木)			
08:00 10:00	チャーターバスにて移動 ハイデルベルク→シュヴェービッシュ・グミュント シュツットガルトの企業 Weleda 訪問	バス	記録担当： 永尾 山中
13:00 18:00	シュヴェービッシュ・グミュント発 ガルミッシュ着→西川先生と合流を予定	バス	
夜	夕食会		
研修メモ 学 び 発 見 成 果			

Day 6 9月3日(金)			
09:00	気候療法概観		記録担当: 北 辻
10:30	休憩		
10:45	ガルミッシュ・パルテンキルヘンの気候療法		
12:00	昼食		
13:30	リース氏(ガルミッシュ・パルテンキルヘン市のクアディレクター)と質疑応答、シュウ先生も同席		記録担当: 石田 井上
14:30	森(中山間)、高山、海辺での気候療法		
15:30	休憩		
16:00	今までの気候療法の開発と現況、質疑応答		
17:30	終了		
19:00	シュウ先生との懇親会 ケーブルで Wank という低い山へ上がり、屋外で山並みを見ながら食事(案)		
<p>研修メモ 学 び 発 見 成 果</p>			

Day 7 9/4 (土)			
08:00	<p>メルクールホテルの入り口に集合，気候療法のコースへ シュウ先生による簡単な山歩きのコースです。 服装は暑さ寒さの調節ができる重ね着が便利です。雨が降っても大丈夫な 服と靴が標準装備。 靴はトレッキングシューズ（多少濡れてもかまわない歩きやすい靴）。</p> <p>昼食 コースの終点にある山小屋レストランにてミュンヘン名物 の白ソーセージで早めの昼食。 出発地点に帰着</p>		<p>記録担当： 内屋敷 永尾</p> <p>*写真担当 山中 北 辻</p>
午後 13:04 14:27	<p>Garmisch-Partenkirchen Munich チェックイン ミュンヘン市内散策</p>	ミュンヘンへ移動 鉄道	
夜			
<p>研修メモ 学 び 発 見 成 果</p>			

Day 8 9/5 (日)			
07:23 11:06	München Hbf Frankfurt 空港駅		
14:40	ターミナル2へ移動、搭乗手続き フランクフルト発 MU220		
メモ			

Day 9 9/6 (日)			
6:50 11:00	上海着 上海発 MU517	成田便 09:10 上海発 MU523	
13:30 15:02 16:57	福岡着 入国手続き、解散 国際線ターミナル発 熊本交通センター着	12:50 成田着	
メモ			

滞在先ホテル

宿泊日・宿泊地	宿泊先
8/30 (月) 31 (火) 9/1 (水) ※3連泊 ハイデルベルグ	【Hotel Zum Ritter St.Georg Heidelberg】 Hauptstr.178/69117 Heidelberg, Germany Phone +49 (0) 6221 135-0 Fax +49 (0) 6221 135-230 e-mail info@ritter-heidelberg.de
9/2 (木) 3 (金) ※2連泊 ガルミッシュ・パルテンキルヘン	【Atlas Grand Hotel】 Ludwigstraße 49, Garmisch-Partenkirchen, 82467 Germany Phone +49 (0) 8821 9363-0 Fax +49 (0) 8821 9363-2222 e-mail info@atlas-grandhotel.com
9/4 (土) ミュンヘン	【Hotel Luitpold】 Schutzenstr. 14, Ludwigsvorstadt, Munchen, 80335 Germany Phone +49 (0) 89 5944 61 e-mail hotel-luitpold@t-online.de

安全とトラブル

フランクフルトやベルリンなどの空港・駅周辺では、スリの被害が発生している。
ホテルでは、ロビーやレストランでの置き引きも発生している。

マナー

ドイツではあいさつが大切。

店に入ったら店員さんやウェイターさんに「グーテン・ターク Guten Tag」、サービスを受けたら「ダンケ Danke」、出る時は「チュス Tschuß (さようなら)」と言おう。対応してくれる人の態度も変わってきます。

簡単ドイツ語

●あいさつ

Guten Morgen／グーテン・モアゲン
おはよう (ございます)

Guten Tag／グーテン・ターク
Grüß Gott／グリュース・ゴット (南ドイツ)
こんにちは
(時間に関係なく、いつでも使うことができる)

Guten Abend／グーテン・アーベント
こんばんは

Auf Wiedersehen／アウフ・ヴィーダーゼー
さようなら

Danke／ダンケ
ありがとう

Danke sehr／ダンケ・ゼア

ありがとうございます

Danke schön／ダンケ・シューン

ありがとうございます／どうもありがとう

Vielen Dank／フィーレン・ダンク

本当にどうもありがとう（ございます）

Bitte／ビテ（ビット）

（フランク：Danke に対して）

どういたしまして

Bitte schön／ビテ（ビット）・シューン

どういたしまして

Bitte sehr／ビテ（ビット）・ゼア

どういたしまして

Keine Ursache.

どういたしまして

4つのBitte

どういたしまして、

お願いします、

どうぞ、

えっ？

●自己紹介

Ich heiße / heisse ...

私の名前は...です） [男性形／女性形]

Mein Name ist ...

私の名前は...です

Ich bin Japaner.

私は日本人です [男性形]

Ich bin Japanerin.

私は日本人です [女性形]

Ich komme aus Kumamoto.

熊本から来ました

●質問

Wie heißen Sie bitte?

あなたのお名前はなんですか

Was ist das?

これは何ですか

Wo ist die Toilette?

トイレはどこですか

第1回 日本気候療法士 資格講習会

「日本で初めての本格的な講習会：世界遺産・熊野で学ぶ」

熊野は、いにしえより多くの人々が蘇りや修験のために訪れた場所で、2004年7月に世界遺産に登録されました。木々に覆われた熊野古道を歩き良質の温泉でゆっくりする熊野スタイルは人気のツアーとなっています。この熊野で、地域資源を活用した健康づくりの実践や健康保養地づくりに役立つ資格講習会を開催します。

- 日程：H22. 10/7（木）～8（金）
- 定員：40名
- 講師：阿岸祐幸（北海道大学名誉教授）
宮地正典、木下藤寿（ドイツ気候療法士）
- 受講料：¥20,000（テキスト代含む）宿泊等は別途自己負担
- 認定試験料：¥5,000
- 会場：「山水館 みどりや」TEL0735-42-1011
和歌山県田辺市本宮 川湯温泉
- 申込：ホームページ <http://hrmed.jp>

※講習会翌日10/9（土）はポストセミナー（気候療法士と巡る熊野）を開催予定です。（希望者のみの自由参加）

気候療法 (Klimatherapie)

日常生活と異なった気候環境に転地して、治療や保養などを行う自然療法で、ドイツ・ヨーロッパでは、100年以上も前から気候療法を病気の治療やリハビリテーション、健康づくり等に取り入れています。

健康保養地

病気の治療や療養、健康づくり、保養などを行う場所のこと。ドイツの健康保養地では、温泉（地下物質）や海、気候などの自然条件が病気の治療・予防に適することが科学的・経験的に実証されています。日本国内でも、科学的に実証された健康保養地づくりが必要です。

気候療法士の役割

気候療法士は、自然資源等を活用した健康づくりの指導や健康教育等を行います。ドイツでは、健康保養地において、気候療法士が健康づくり指導や教育を行っています。日本においては、今後の健康保養地づくりや自然資源を活用した健康づくり等での活躍が期待されます。

健康保養地の分類

- (1) 気候療養保養地
森林、山岳などの気候や地形要素が治療素材
- (2) タラソセラピー療法保養地
海岸で海洋性気候要素を用いるタラソセラピー
- (3) クナイフ療法保養地
19世紀半ばにクナイフ神父が創設した伝統的水治療法
- (4) 温泉療法（鉱泉・泥療法）保養地
温泉療法や泥療法を主として実施

カリキュラム：講義・実技・試験

気候療法士リーダーは、自然療法である気候療法の知識、実技を習得し、自らが実践できるとともに、気候療法士アドバイザーの補助を行い、指導助手を務めることができる資格です。

- 募集要項
・受講資格：気候療法士リーダー ・受講資格：成人
- カリキュラムの特徴
日常的に活用できる気候療法の知識と実践方法を学びます。自然環境を活用した健康保養地の考え方を学びます。
<1日目>・講義 <2日目>・講義 ・実技
- 試験（実技・筆記）※発表は後日

熊野は気候療法先進地

熊野は、健康ウォーキングや温泉浴、地元料理が楽しめる健康保養地です。熊野では、健康効果検証や健康プログラム、人材育成、温泉旅館との連携など、国内においていち早く健康保養地づくりに取り組んでいる地域です。



申込締切：平成22年9月17日（金）17：00

主催：一般社団法人 健康保養地医学研究機構 <http://hrmed.jp>

協力：和歌山県、田辺市、NPO熊野で健康ラボ、財団法人 和歌山健康センター
お問合せ：一般社団法人 健康保養地医学研究機構 事務局 担当：大津
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-8-10三ツ美ビル8F
TEL：03-5623-5874 FAX:03-5623-5871 email：info@hrmed.jp